

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の対応

敦賀市立中郷小学校

4月18日(木)に全国の小学校6年生を対象とした「教科(国語・算数)に関する調査」が、そして22日に「質問紙調査(オンライン)」が実施されました。その結果についてお知らせします。これらの分析をもとに、今後の指導改善に取り組み、「知・徳・体」の向上を目指していきますので、ご家庭でのご協力をお願いします。

【国語】○良好であった点 ●課題となる点

情報の扱い方に関する事項

【問題の内容】

オンラインで交流する場面において、和田さんが話し方を変えた理由として適切なものを選択する。

【問題】

【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものと、最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 出来事ごとが起こった順に言葉を線でつないでいる。
- 2 中央の言葉と関係する言葉を線でつないでいる。
- 3 似ていることがらをまとめて丸で囲んでいる。
- 4 よい点と問題点を分けて丸で囲んでいる。

【正解】3

○昨今タブレットを使用する頻度が高くなり、情報を取り扱うことも多くなっています。そのため、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことが大切になってきています。日常の学習の中でも意識して取り組んでいることもあり、活用するためにうまくまとめたり、情報の取捨選択したりすることができています。

【問題】

二 高山さんは、次の【高山さんの文章】の [] に、【高山さんの取材メモ】をもとにして考えた「たてわり遊び」のよさを書こうとしています。あなたが高山さんなら、 [] に入る内容をどのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

○「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書くこと。

○【高山さんの取材メモ】の下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて書くこと。

○六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

【正解例】「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」という一年生や、「みんなが楽しそうであれしかった」という一年生がいます。このように、「たてわり遊び」のよいところは、学年をこえた交流ができることだと思えます。(百字)

●条件を満たして作文を書くことに課題があります。

条件作文の問題では、一方の条件を満たしていても、もう一方の条件を満たしていないことが本校の児童には多く見られました。特に、取材メモからの引用の部分が抜けていることが多く、引用の仕方、「」の使い方や文末表現などが不十分でした。もう一度、書き方も含めた、基礎・基本を確認することが大切にしていきます。

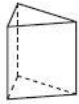
今後の対策

- ・国語の時間のみならず、他教科やアップタイムなどを使って「○字以内で書く」「引用して書く」「文末表現に気をつける」「根拠を示しながら書く」など、複数の条件をから書く活動を採り入れます。
- ・学年相当の漢字を使用して文章を書くことや、「」の使い方など、基礎・基本の学習の再確認し、簡潔で分かりやすい文章を書くことができるような活動を取り入れます。

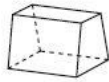
【算数】○良好であった点 ●課題となる点

(4) ことねさんたちは、角柱の面の数について考えています。

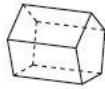
図形



三角柱



四角柱



五角柱



ことね
三角柱の面は5つです。三角柱には、底面が2つ、側面が3つあるからです。



はると
四角柱の面は6つです。



ひより
五角柱の面はいくつかな。

五角柱の面はいくつですか。答えを書きましょう。

また、そのわけを、底面と側面がそれぞれいくつあるのかがわかるようにして、言葉と数を使って書きましょう。

そのとき、「底面」、「側面」の2つの言葉を使いましょう。

【問題の内容】

五角柱の面の数を書き、そのわけを底面と側面に着目して書く。

【正解の例】

五角柱の面の和 7つ

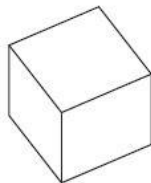
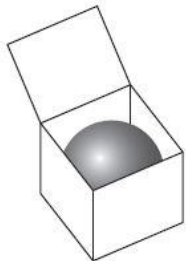
そのわけ 五角柱には、底面が2つ、側面が5つあるからです。

○問題文の子どもたちの会話の内容から、説明の仕方を予想し、それを使って、本題の解答を書く問題です。条件が少ない場合だと、それに合う文章を書くことができます。

(3) 直径 22 cm の球の形をしたボールがあります。



このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。



この立方体の形をした紙の箱の体積が何 cm^3 かを求める式を書きましょう。

ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを書く必要はありません。

【問題の内容】

直径 22cm のボールがぴったり入る箱の体積を求める。

【正解の例】

$22 \times 22 \times 22$

○箱の中に球体が入っていることから、円周率の 3.14 を使用するのではないかと考える児童が多く、 22×3.14 という誤答が多かったです。また、体積は縦 \times 横 \times 高さという公式から、立方体だったため、 22×3 のように立式してしまった児童も多く見られました。立体に限らず、公式の意味をよく考え、どうしてその式で求められるのかを今一度確認していくことが大切です。

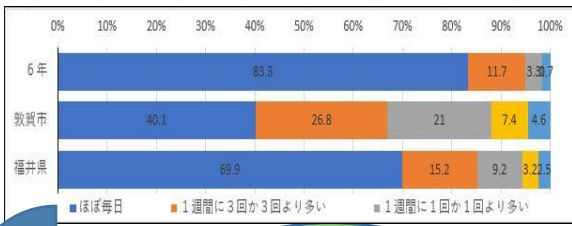
今後の対策

- ・言葉の式の意味や公式の意味など、互いに学びを交流し合い、自分の言葉として説明（アウトプット）し、定着につなげていきます。
- ・様々な問題に接し、文章中のどの言葉や数値が必要とされるのかを考えさせる活動を増やしていきます。

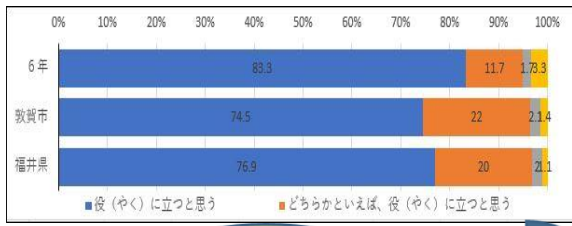
〈質問紙に関する結果から〉

市、県平均よりも良好であった点(抜粋)

授業におけるタブレットの使用頻度は？



授業におけるタブレットの有効性は？

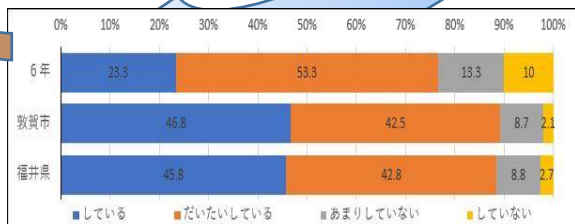


中郷小学校では、タブレットを効果的に活用する研究をここ数年続けております。ノートの代わりとして使用するためだけではなく、友達との意見交流のためや、共有機能、検索機能などを使い、自分自身の考えを深めたり、まとめたりすることに使用しています。タブレットを使用することで時間の短縮が図られ、その分意見交流の時間を多く取ることができています。今後も児童自らがまとめ、発信し、互いに深め合いながら学習できるよう、さらなる授業改善に取り組んでまいります。

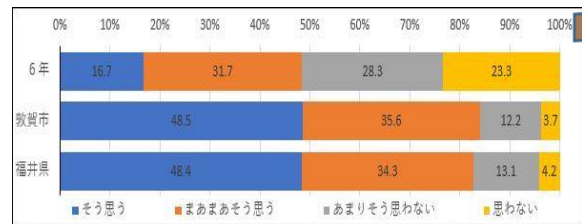
左記の結果からも、日常的にタブレットを使う習慣ができており、その中で児童たちも学びの中におけるタブレットの有効性に気がついているようです。本校の児童は授業支援アプリなども、自分の操作スキルや目的に応じて自分で選択して使うこともできます。今後、デジタル社会へと突き進んでいくと予想されるので、タブレット操作などのスキルは、習得していくべき力の一つとして、学校でも子どもたちに指導していきたいと考えています。

調査実施が6年生4月であり、クラス替え間もない時期とあって、子どもたち同士もまだ仲間作りの最中であつたと言えます。また4月の学年始めでは、自分のことで精一杯という児童が多かつたかもしれません。そこで、学級ではエンカウンターなどを中心に学級づくりを、学校でも年間を通じて、学校行事や委員会活動など、児童が主役となっていくいきと活動できるような手立てを講じ、周囲を含め、共に成長していきたいという思いを育てていきます。

ようやくコロナによる制限がなくなり、学校行事もコロナ前に戻りつつあります。これまでは、不特定多数による集団での活動等が制限されていたこともあり、経験が不足しています。そのため、新しい集団や異学年での集団活動にいくらかの不安を感じているようです。今年は、これまで以上に児童が主体となるような委員会活動や行事を多数企画し、実施する中で経験し、学校のリーダーとして、またはどんな立場でも活動できる自信をつけさせていきます。



周りをよりよくしているか。



どんな集団でも、しっかり活動できるか。

市、県平均よりも課題のあつた点(抜粋)

今後も職員一同、「心ゆたかで たくましい子の育成」に努めてまいります。